



わがまち消防団

令和2年度 皆野町消防団特別点検



アナウンスをする女性消防団員

11月8日(日)に町民運動公園で消防団特別点検が行われました。特別点検では、町内全地区の6隊が、これからの火災の発生しやすい時期に備え、消防活動に万全を期するため、消防車両・機械器具の点検を受けました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を徹底し、操縦競技会などの一部のプログラムを省略して実施しました。

女性消防団員の活躍

現在6名が在籍している女性消防団員は、分列行進への参加や会場での司会進行のアナウンスなど、多くの活動を実施しました。女性消防団員は、主に広報活動や火災予防活動などに今後も努めていきます。

豊田団長コメント

各分団ともに、火災発生時には出動できるよう、消防車両や機械器具の適正な管理・点検が行われており、町長からも「極めて優秀である」との評価をいただきました。また、6名に増えた女性消防団員には、今後の消防団活動のさらなる発展を担っていただきたいと考えています。近年は火災の他にも、台風や地震などいつ発生するかわからない自然災害についても関心が高まっています。有事の際には出動できるよう、日頃から防災意識の向上にも努めてまいります。また、新型コロナウイルスの感染拡大を防止することも、住民の安心・安全を守る消防団にとっても重要な使命であると考えております。これからの季節は、空気が乾燥し、火を取り扱う機会も増え、火災が発生しやすい時期となります。今後も消防団員一同、火災予防活動を行い、安心安全の皆野町をめざしていきます。

猫の飼い主のみなさんへ

猫は家族の一員です。猫の習性・生理・生態などを理解し、生涯愛情と責任をもってお世話をしてください。

また、子猫が生まれても飼えない場合には、必ず不妊去勢手術を受けさせてください。めず猫は発情期の夜鳴きがなくなり、子宮蓄膿症などの病気予防にもなります。おす猫はけんかでけがをしたり、遠出して帰ってこなくなることが減ります。

※やむを得ない理由で飼えなくなったときは、必ず新しい飼い主を見つけましょう。



猫の飼い方・しつけについて

室内飼い	猫は、できるだけ室内で飼いましょう。近隣への迷惑だけでなく、交通事故や病気から猫を守ってあげることもなります。
トイレ	家の中にトイレを用意して使わせるようにしましょう。猫のふん・尿は大変臭うので、外で自由にさせておくと、近所の庭などに入り込んで用を足し、周りの人が非常に迷惑します。
つめとぎ	猫専用のつめとぎを用意して、そこでつめとぎをするよう教えてあげましょう。つめとぎがないと、家具や柱などでつめをといてしまいます。また、定期的につめきりをしてあげましょう。
身元表示	飼い猫であることを明示することは、飼い主と飼い猫の密接なつながりを示すとともに、飼い主のいない猫と識別をするためにも重要なことです。

問合せ 町民生活課 環境衛生担当 ☎62-1232

